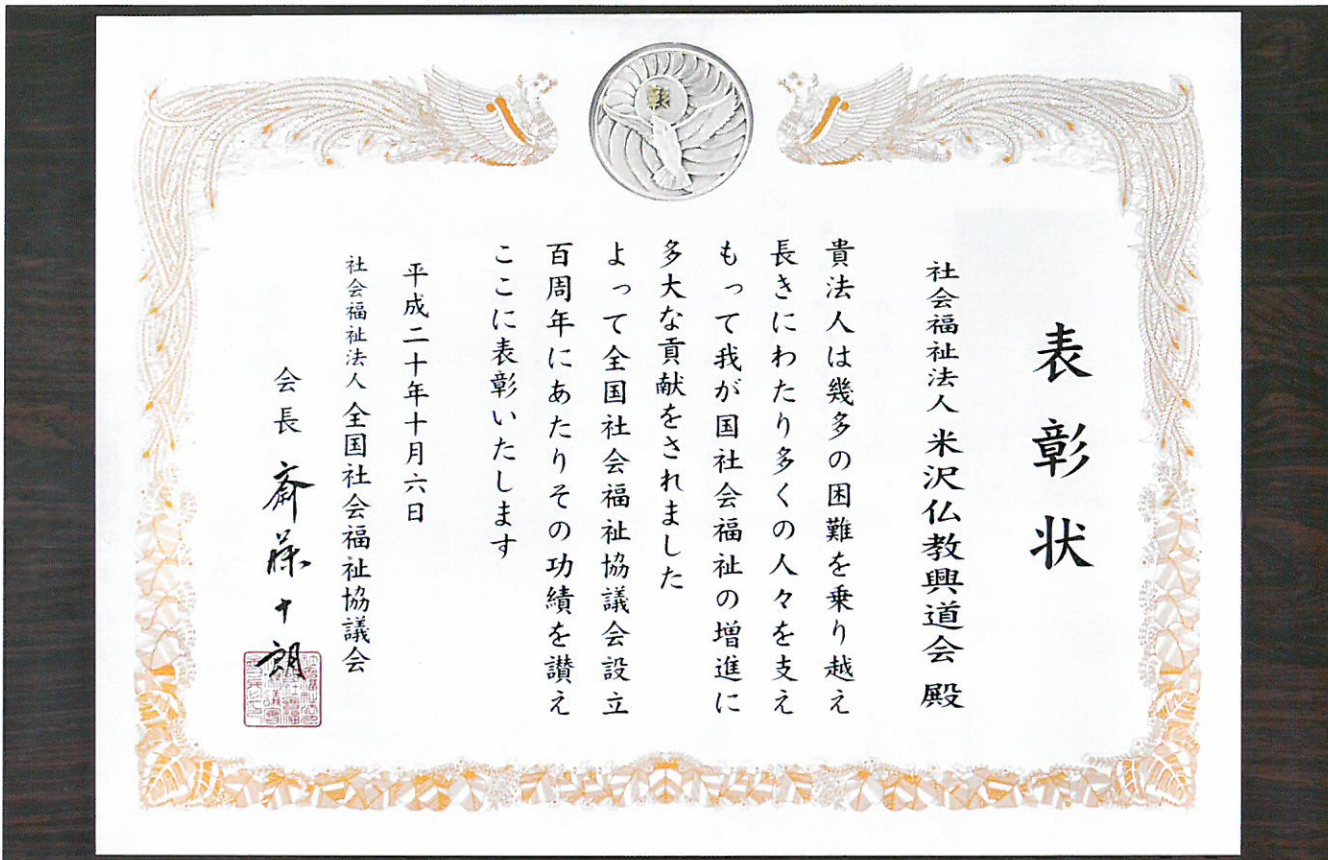


# 興道会だより

米沢仏教興道会 〒992-1443 米沢市大字笹野170番地 花の里内 TEL0238-38-3328 FAX0238-38-2198 発行責任者/玉木龍晃



## 表彰状

社会福祉法人米沢仏教興道会 殿

貴法人は幾多の困難を乗り越え  
長きにわたり多くの人々を支え  
もって我が国社会福祉の増進に  
多大な貢献をされました  
よって全国社会福祉協議会設立  
百周年にあたりその功績を讃え  
ここに表彰いたします

平成二十年十月六日

社会福祉法人全国社会福祉協議会

会長 斎藤 一 朗



## 全国社会福祉協議会 創立百周年記念表彰受賞

全国社会福祉協議会が創設されてから百年という節目の時、平成二十年十月六日東京霞ヶ関・灘尾ホールにて、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、「全国社会福祉協議会百周年記念感謝の集い」が開催され、全国から四一五人の社会福祉関係者が出席致しました。  
我が米沢仏教興道会は明治二十年に創立され本年で一二三年目を迎えます。その長きにわたる施設経営法人として表彰を受ける為の参加でありました。

「福祉に対する人々の関心がそれ程高くない時に、様々な活動を続けてきた先達の苦勞をしのび深く敬意を表します」との天皇陛下のお言葉が胸に染みしました。

興道会の先達が創立期(明治)・大正期・昭和期・平成期と受け継いできた志を、会員職員がそれぞれの立場で守り、更なる努力が大切な事と実感致しました。現場で働く職員の皆様、福祉の実践者として充実した活動を期待致します。

平成二十一年二月吉日

米沢仏教興道会 会長 玉木 龍晃

## 事業報告

### 平成21年度 事業計画(案)

**4月 正会員会総会**

**6月6日(土) 第85回 花まつり**  
■時間/14:00~ 於:伝国の杜

**10月 秋季戦没者慰霊祭**

**12月 歳末助け合い募金(ののさま募金)**

**12月 正会員会・忘年会**

平成22年  
**3月1日 機関紙「興道会だより」第8号発刊**

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。

平成20年度

■とき/平成20年4月21日(月) ■時間/17:00~  
**正会員会総会** 於:一つ待

■とき/平成20年6月14日(土) ■時間/14:00~  
**第84回花まつり** 於:米沢市市民文化会館

■とき/平成20年7月31日(木) ■時間/17:00~  
**正会員会** 於:志ん柳  
・新役員選出 ・第84会花まつり決算報告

■とき/平成20年10月10日(金)  
**秋季戦没者慰霊祭** 於:正福寺

■とき/平成20年12月16日(火)  
**歳末助け合い募金(ののさま募金)** 於:本部プレハブ

■とき/平成21年2月2日(月) ■時間/17:00~  
**正会員会新年会** 於:一つ待  
花まつりポスター選考発表

■とき/平成21年3月1日(日)  
**機関紙「興道会だより」第7号発刊**

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。



米沢仏教興道会 事業部長  
龍泉寺 芳賀裕長

お寺で掲示板に毎月、今月の言葉を書いています。三月の言葉は「仏さまが見ている、みんな見ている。」にしようと思います。

私が子供の頃は、親や近所の人から「そんなことをしたら罰が当たるよ」とか、「お天様が見ているよ」などと言われ、誰に見られていなくても、悪いことをしてはいけないとしつけられてきました。ところが、今はテレビや新聞などを見ていますと、何をしよう自分勝手。たばこ・空き缶やゴミのポイ捨てにはじまり、悪を取り締まるはずの人の犯罪、人を導くはずの人の不祥事、金さえ儲ければ何をしても良いと言わんばかりの会社、国家や社会のためでなく、私腹を肥やすことしか考えない人。人をだましたり、裏切ったり、自分の欲を満たすために人を殺すことだって起きています。

悪いことをしても見つからなければそれでいい、うまくいったと考えるような人の心を無明と言いますが、自分の罪の深さに気づかず、正しい生き方に目覚めていない人のことですが、多かれ少なかれ、このような心は誰にでもあるのではないのでしょうか。

そんなときでも、自分以外にじっと見ている方がいます。「仏さまが見ている、みんな見ている。」  
合掌

— 第三回 —

# 観音霊場巡り

観音信仰は古くからあるが、衆生が日頃出会うあらゆる災難や苦難が、ただ菩薩の名前を唱えるだけで即座に救われるという、七難七生の利益の信仰は庶民の中に深く入り込んだ。

又、衆生の苦難に菩薩がさまざまに化身して示現するという三十三身説は、観音霊場三十三カ所巡礼や、四国八十八カ所の遍路となつて広く流行した。

この近くでは最上三十三観音や置賜三十三観音霊場がある。

しかし、地元の米沢三十三観音霊場もあることを知っている方が少ないのは、残念なことである。折角浅からぬ歴史のある霊場を埋もれさせるのは悲び難く、この資料を以て認識を新にしてみたいと思う。

七番千手観世音 東寺町 輪王寺

みほとけの

ちかひもかたき、こんごうの

みねよりもる、のりのつきかげ



二十四番聖観世音 銅屋町 正福寺

のどむすぎ、  
ナとどむすぎて、どうやまら  
かねきくあいづ、いそぎこそすれ

十四番如意輪観世音 東寺町 正圓寺  
いついるや  
くものたいまの つきをみて  
かねのひびきに あくるしののめ



# 四万六千日とは

「四万六千日」は毎年七月十日に東京浅草寺の観音に参詣すればその一日の参詣だけで四万六千日参詣したのと同じ功德があるとされることらしい、また「四万六千日参り」ともいう。

この日は観音の縁日の一つで、浅草寺では「御茶湯功德日」という。毎月一回縁日をきめ、その日一度の参詣が、平日の参詣の数数千倍に当たる功德があるとされており、七月十日はその功德日の一つである。「江戸鹿子」浅草寺の条に、二月晦日は九日、正月朔日、三月四日、四月十八日はいずれも百日、五月十八日、六月十八日、十月十九日はいずれも四百日、八月二十四日、九月二十日、十二月十九日はいずれも四千日、十一月七日は六千日、七月十日は四万六千日に当たるといい、この中で七月十日が最も功德の多い日とされる。

この四万六千日は浅草寺のみでなく、京都清水寺、大阪天王寺等各地の観音霊場の縁日であり、あるいは四万八千日、四万九千日等といわれており「日次紀事」(ひなみきじ) 七月初十日の条に「清水寺千日詣。俗に今日参詣すれば、平日の千度に当たると伝う。或いは四万六千日に当たると謂う。」と記し「塩尻」第五十九に「七月十日観音を安置する寺院へ、千日参と称して男女多く参詣す(今は四万九千日にあたるなど云うにや)。殊に東洛清水寺、九日の夜より路もさりあえず群聚せり、凡そ経論の説にも見えず、百年前の書にさえない事か。」と述べていることなどからいって、そのもとなつたのは「千日詣」とみられる。しかし、室町時代以後、とくに江戸時代において民衆の霊験に対する要望に答えて盛んになったものと思われる。

# 花まつりポスター公募報告

## 「花まつりポスター公募の選考結果」

昨年より公募しておりました花まつりポスターに多数の応募をいただきましたありがとうございました。一月二十二日に選考会を開催し、いずれの作品も甲乙つけがたい素晴らしい出来映えでしたが、左記のような選考結果となりました。入選された方々には二月十三日に表彰式を開催し副賞を添えて伝達致したところです。尚、最優秀賞に選ばれた作品は、第八十五回以降の花まつりのポスターとして使用されることとなります。皆様のご理解を賜り沢山のご応募をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

〈最優秀賞〉

塚本 順子さま

〈入選〉 齋藤 香織さま

〈入選〉 窪 泰晋さま

齋藤ひかりさま

塚本 正憲さま



# 歳末助け合い募金活動

## の御礼について

今年も歳末助け合い募金活動(ののさま募金)にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

お陰様で、十二月十六日(水)に駆け付けていただいた会員御寺院様、各保育所・老人ホームの利用者と職員の皆様の善意は、合計一〇六、五二八円の募金浄財となりました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

集まった募金浄財は、十二月二十六日(金)に玉木会長より米沢社会福祉協議会を通じて「歳末助け合い募金」に寄付いたしましたことをご報告いたします。

今後皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。この度は誠にありがとうございました。



# 仏青30周年記念

この度、米沢仏教興道青年会が創立三十周年を迎えました。



平成二十一年六月七日に伝国の杜にて記念事業として、元読売巨人軍堀内恒夫氏の講演会を開催。また、併せて記念事業として、本部にて記念法要、仏教講習会、研修旅行など開催しました。仏青は現在、会員数九名と少ない中、毎年の街頭托鉢募金活動や灯籠流し法要、ボランティア活動、研修会を実施しています。そして、昨年度、長年の実績が認められ、全国社会福祉協議会より表彰をいただきました。今後も会員皆様のあたたかいお見守りをお願い申し上げます。

